

肝炎ウイルス検査を受けよう!

国内最大級の感染症ともいわれるウイルス性肝炎。
 肝炎ウイルスに感染している人は300万～370万人で、
 日本人の約40人に1人と推計されています。
 肝炎ウイルスは、血液検査でわかります。まずは一度、検査を受けましょう。

Q1 どうして肝炎ウイルスを調べるの?

A1 肝炎は肝臓が炎症を起こす病気です。一番の原因が肝炎ウイルスの感染であり、ウイルスに感染しているかどうかを調べるのが、最も重要になります。

●主な肝炎ウイルス

種類	原因や特徴
B型肝炎ウイルス	血液(輸血など)などから感染。急性肝炎、慢性肝炎の原因になります。
C型肝炎ウイルス	

Q2 肝炎ウイルスに感染すると、どうなりますか?

A2 肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、自覚症状がないままに病気が進行してしまいます。特にC型慢性肝炎は、肝硬変から肝がんになる確率が高い病気です。感染がわかった場合でも、必要な定期検査や適切な治療を実施すれば、重症化を防ぐことができます。近年では治療効果が高く、副作用の少ない治療薬も開発されています。重症化する前の早期発見、早期治療が重要です。

肝炎ウイルスの検査は、医療機関で受けられます。まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。



日医新キャラクター「日医君(にちいくん)」

Q3 検査はどのような方法ですか?

A3 肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査で調べることができます。採血は短時間で済み、身体への負担も少ない方法です。

※市町村から無料または低額を受診券が配布されている場合がありますのでご確認ください。